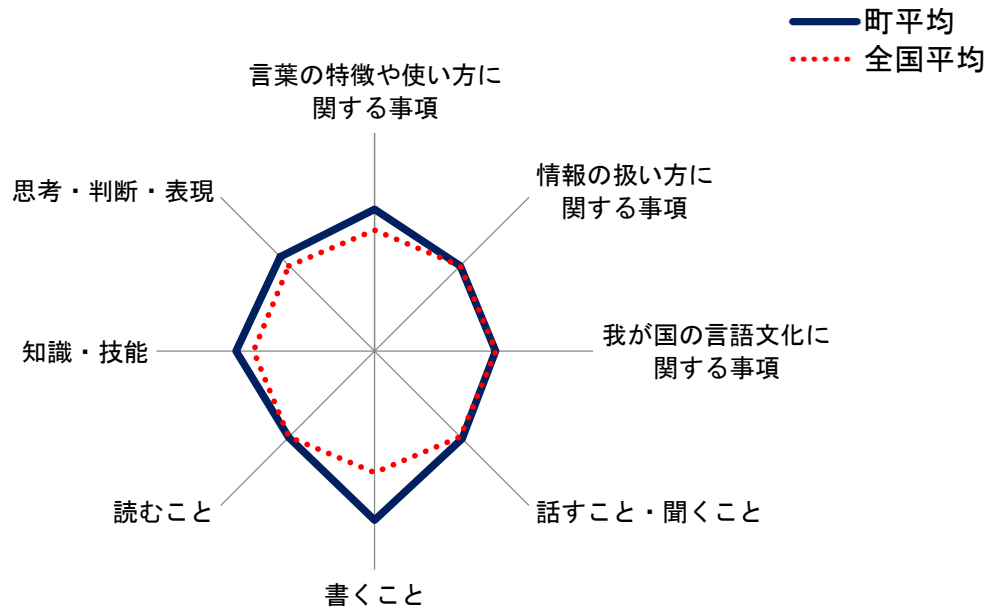
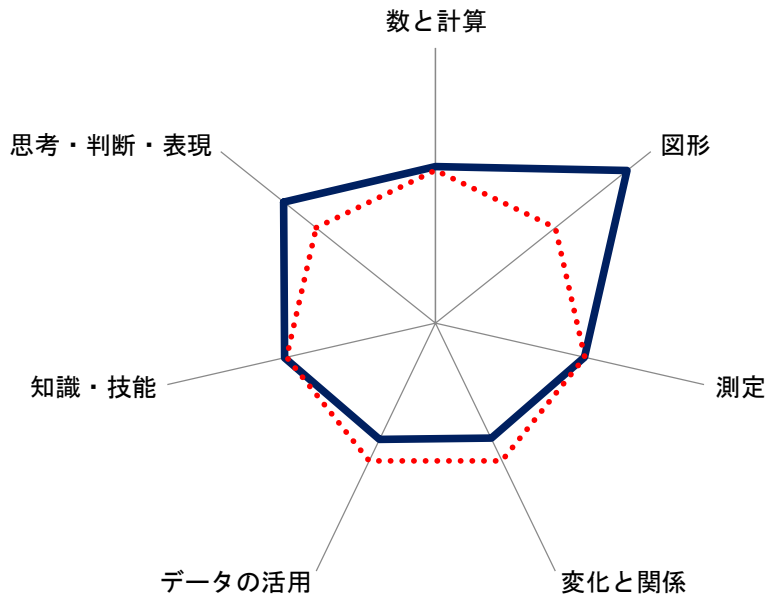


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

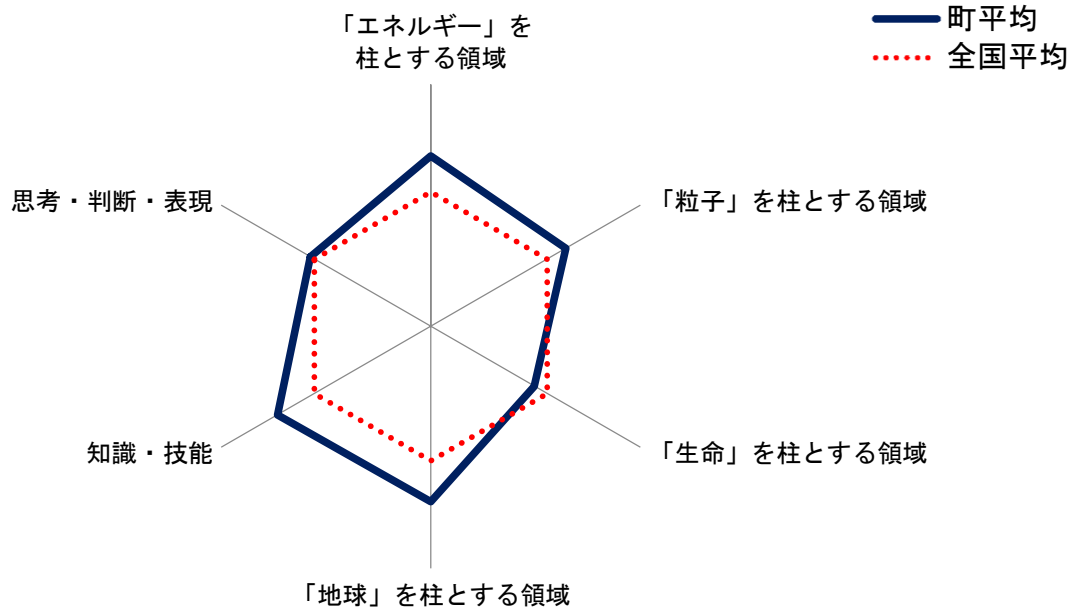


【算数】

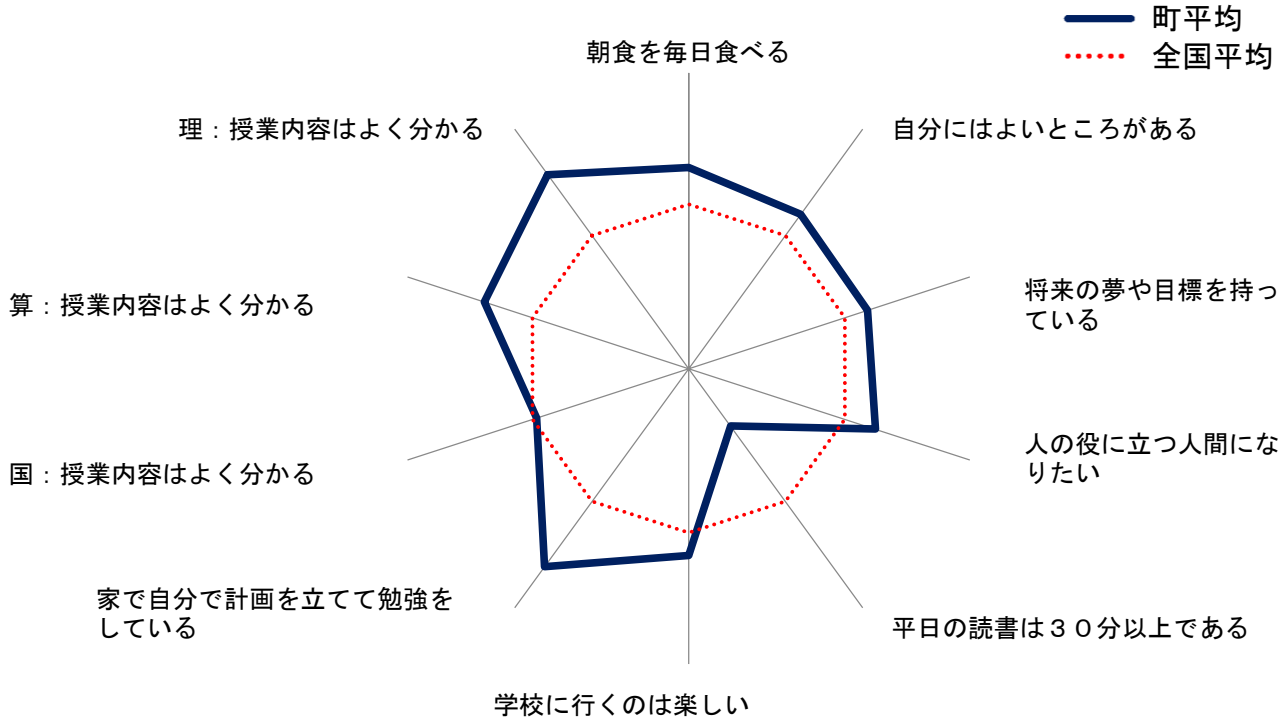


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、多くの項目が全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果である。算数の「変化と関係」「データの活用」、理科の「『生命』を柱とする領域」などの項目は、全国平均を下回っており、これらの学習内容の定着に課題が見られる。今後、引き続き、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続することで、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が望まれる。

児童質問紙調査では、ほとんどの項目において、全国平均を上回っている。特に、「家で自分で計画を立てて勉強している」の項目は大きく上回っており、極めて良好な結果である。一方、前回調査では上回っていた「平日の読書は30分以上である」の項目が大きく全国平均を下回っており、今後も継続して読書に親しむ習慣づくりに心掛け、児童一人一人に応じた読書活動の充実を図る指導が望まれる。